

令和元年度

# 総会資料

(令和元年5月17日)

大阪実業教育協会

# 令和元年度 大阪実業教育協会総会資料 目次

○平成 30 年度 事業概要 .....	P1
(1) 国内産業教育研修員の派遣 .....	P1
(2) 見学研修会 .....	P3
(3) 研修会 .....	P3
(4) 産業教育に関する「講演会・シンポジウム」の開催 .....	P4
(5) 専門高校生徒の研究活動奨励に関する事業 .....	P4
(6) 要望書（産業教育予算確保等産業教育振興について） .....	P6
(7) 要望書（大学入学選抜における推薦入学制の採用・拡大について） .....	P8
(8) 要望書（専門高校卒業生の採用について） .....	P9
(9) 御下賜金記念産業教育功労者の表彰 .....	P10
(10) 優良卒業生の選奨 .....	P11
(11) 部会長の委嘱 .....	P12
(12) 総会 .....	P13
(13) 合同役員会 .....	P13
(14) 研究団体への助成 .....	P14
(15) 産業教育に関する公私の諮問等への意見具申などの協力 .....	P14
○平成 30 年度収入支出決算書（案） .....	P15
○基金の増減額及びその残高 .....	P16
○平成 30 年度会計監査報告 .....	P17
○令和元年度事業計画（案） .....	P18
○令和元年度収入支出予算書（案） .....	P19
○関連事業・行事 .....	P20
○参考資料 .....	P27

# 平成30年度 事業概要

## (1)

### ◆国内産業教育研修員の派遣 (43回)

昭和51年以来継続実施の事業で、すでに延べ179名を派遣した。

本年度実施内容

#### 1 視察研修員

視察研修員は、各校長会の推薦をいただき、次の3名で構成した。

大阪府立藤井寺工科高等学校 (定時制)	教頭	松山 国林
岸和田市立産業高等学校 (全日制)	教頭	西村 元博
大阪市立中央高等学校	教頭	日尾 泰也

#### 2 視察研修のテーマ (産業教育視察研修報告書より)

今回の学校訪問は、大都市圏における専門高校の改革と特色ある教育の取り組み及び学校運営上の課題を聞かせていただき、今後の大阪における実業教育を充実させるための参考にすることを目的とした。複数の既知の都立高校の先生方に相談・依頼し、次の3校にお願いすることができた。

また、企業訪問については、話題性があり、かつ最新技術に触れたいという方針のもとに、企業の選定を行い、年末で多忙な中であったが次の3社の訪問が実現した。

#### 3 調査研修実施内容

- ① 研修期間 平成30年12月25日 (火) ~ 27日 (木)
- ② 研修地 東京都、福島県
- ③ 研修日程・研修先

【第1日】 12月25日 (火) 学校見学

■東京都立蔵前工業高等学校	東京都台東区蔵前 1-3-57	
<a href="http://www.kuramaekogyo-h.metro.tokyo.jp/">http://www.kuramaekogyo-h.metro.tokyo.jp/</a>		03-3862-4488
■東京都立橘高等学校	東京都墨田区立花 4-29-7	
<a href="http://www.tachibana-h.metro.tokyo.jp/">http://www.tachibana-h.metro.tokyo.jp/</a>		03-3617-8311
■東京都立科学技術高等学校	東京都江東区大島 1-2-31	
<a href="http://www.st-h.ed.jp/">http://www.st-h.ed.jp/</a>		03-5609-0227

【第2日】 12月26日 (水) 工場見学

■コドモエナジー株式会社川内第一工場	福島県双葉郡川内村大字下川内字砂田 334	
<a href="http://www.codomo-e.co.jp/">http://www.codomo-e.co.jp/</a>		0240-23-6777

【第3日】 12月27日 (木) 会社見学

■マツ株式会社	東京都千代田区富士見 1-11-12 アーバンコート 1F	
<a href="http://www.mat.jp/">http://www.mat.jp/</a>		03-3261-5431
■株式会社テクノネット	東京都中野区中央 4-7-17	
<a href="http://www.technonet.co.jp/index.html">http://www.technonet.co.jp/index.html</a>		03-6746-0080

#### 4 調査研究項目

##### 【第1日】

東京都立蔵前工業高等学校は、大正13年に東京市立浅草工業専修学校として設立し、本年創立94年目を迎える歴史と伝統のある工業高校で、専門的な知識と技術・技能を身に付けた『専門家スペシャリスト』の育成指導に注力している。設置学科は、全日制課程は、機械科、電気科、建築科、設備工業科の4学科、定時制課程は、建築工学科の1学科を設置している。

本校は、「ものづくり人材育成プログラム特定分野推進校」である。インターンシップを学校行事に位置付け、全教職員が担当し、2学年の生徒全員を3日間のインターンシップに参加させている。

資格取得では、ジュニアマイスター、電気工事士、危険物取扱者、工事担当者、消防設備士等の難関資格の取得指導を行い、資格取得総延べ件数650件以上を目指している。

定時制課程は、各学年1クラスで、建築工学科は、少人数制で建築と設備について学習している。

東京都立橘高等学校は、平成19年度に、東京都立向島工業高等学校と東京都立向島商業高校を統合したわが国初の産業科高校である。従来型の工業高校、商業高校のイメージにとらわれず、キャリア教育の充実と、ものづくりから流通・販売までの地域貢献とインターンシップを通して総合的に学び、起業家精神を育成し、産業界全体を見渡せる力を身に着けた、社会に貢献する人材育成を目指した「産業科」を設置している。

卒業後の進路実現に備え、生きた英語力と使えるICT（情報通信技術）力の育成を重視した教育課程を編成している。

東京都立科学技術高等学校は、平成13年に東京都立化学工業高等学校と東京都立江東工業高等学校を統合した新しいタイプの高校である。座学だけでなく豊富な実験や研究を通じて科学技術を学びながら、理系大学等への進学を目指す進学型専門学科「科学技術科」を有している。

##### 【第2日】

コドモエナジー株式会社川内第一工場は、平成30年6月に、世界的なニュースになったタイ北部チェンライ県タムルアン洞窟に17日間にわたって閉じ込められていたサッカーチームの少年たちとコーチの救出作業の際に使用された蓄光建材「ルナウェア」の生産している会社である。

ルナウェア（高輝度蓄光磁器製品）は、有田焼400年の伝統技術を基に、釉薬を塗る技術を応用して蓄光顔料を磁器製タイルに厚く焼き付けることで、強い明るさを長時間保つ高性能な蓄光タイルである。ルナウェアは、耐摩耗性、耐水性、耐薬品性、強度、輝度に優れ、半永久的に蓄光機能を持続出来ることから、床面に配置する誘導装置としては最適の素材である。その明るさは、磁器製の蓄光式誘導装置では初めて最高ランクの認証を取得している。地球環境の保護にも貢献し、自然エネルギーを循環利用した安心性、安全性を備えた、半永久的に持続可能な製品である。同社が10年かけて開発したルナウェアは1時間ほどの蓄光で約12時間光るという特性を持つ。

##### 【第3日】

マット株式会社は、スポーツ施設建設のコンサルタント業務と陸上競技を中心としたスポーツイベントの企画運営、陸上競技運営システムの開発、ロードレース・駅伝などのさまざまな規模（国内ローカル大会・全国大会・国際大会）の大会運営をサポートしている会社である。陸上競技大会運営システム「Athle32」をはじめとした各種のデモンストレーションを行っていただいた。

株式会社テクノネットは、テレビ・インターネットなどの各種スポーツイベントの中継映像制作の競技運営・記録データの作成や、テロップ・CGなどの情報処理システム・リアルタイムCGシステムの開発・運用を行う会社である。

NHKや民放キー局など全国のテレビ局をはじめとする映像制作現場に向けて、コンピュータを活用した情報処理システム・リアルタイムCGシステムの開発し、合わせてその運用技術サービスを提供し

ている。

例えば、オリンピック・サッカーワールドカップなどに代表される各種スポーツイベントのテレビ放送の生中継や選挙速報などの際に画面に表示されるテロップ・コンピュータグラフィックなどである。インターネットメディアやe-スポーツなどの開発中のシステム・ソフトウェアのデモと年末年始に放映予定のテレビ番組用のデータ作成作業の説明を受けた。

今回訪問した実業系高等学校は、特色化を確実かつ大胆に取り組んでおられ、大都市圏における学校づくりと学校運営の指標になるだろうと感じた。教職員の異動は頻繁にあるようで、継続した取り組みと一貫性を保つことの困難さもあることも伺った。学校としての教育内容、指導内容の継続性をいかに維持していくかが大きな課題になっているようである。また、現在大学生の就職環境の良いことが、優秀な教員を確保することの難しさの要因になっていることも知ることが出来た。

学校現場では簡単には解決できない構造的な問題については、長期的なビジョンを持ち、堅実に人材育成に取り組んでいかなければならないことも再認識した。

今回の研修を終えるにあたり、年末の多忙な中でお時間を割いて対応いただきました訪問先の各学校・各企業のみなさま、本研修のためご支援・ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。

## (2)

### ◆見学研修会 平成30年10月17日(水)

株式会社エクセディ(寝屋川市木田元宮1-1-1)の見学(22名参加)

クラッチ、トルクコンバータ部品の専門メーカーとして60年以上の歴史があり、25ヶ国に工場や営業拠点、関連会社を含め、連結従業員数18,000人を超えるグローバル企業を見学することができた。

グローバル人材開発本部 部長 松永 賢 様の講演では、「企業理念は「喜びの創造」であり、「Focus on Basics 基本(原点)に戻ろう」をスローガンに掲げ、グループ全従業員が基本に焦点をあてて「現地・現物」を確認し、「業務の背景が何であるか、何を目的に行うのか」をしっかりと理解して、業務に取り組む活動を進めている」とのことで、専門高校からの先輩の活躍の様子も伺うこともできた。

講演のあと1時間余りの工場見学で、作業の基本を学ぶ研修室や外国人の研修生の様子、従業員の礼儀正さ、環境に配慮された工場等が見学でき、社風の一部を感じることが出来た研修会であった。

### ◆大学見学会 平成30年7月24日(木)～8月28日(火)

大阪商業大学(7/24)、大阪芸術大学(7/30)、大阪国際大学(8/1)、大阪電気通信大学(8/2)、摂南大学(8/3)、大阪経済法科大学(8/7)、近畿大学(8/21)、大阪産業大学(8/23)、大阪工業大学(8/28) (延べ参加者:38名)

昨年に続き、会員9大学から見学受け入れの許可をいただいた。見学時間は、午前中か午後の半日間で行われた。見学会は、各大学とも施設・設備等の見学と各学部・学科、入試制度、実業系高校の入試制度、奨学金制度等々の説明があり、担当教授の実際の特色ある講義の紹介をいただいた。参加者からは、実際に見学と説明を受けて大変良かった。見学会内容を進路指導として、生徒へも伝えることができる等の声が聞けた。次年度もご意見をいただきながら依頼実施するように検討する。

## (3)

### ◆研 修 会

工業高校教員実技研修会(第40回)(近畿工業高等学校長協会、大阪実業教育協会 共催)

従来の、岩通通信機(株)の実技講習会は、H30年度から東京と隔年開催となり、本年度は東京開催のため、ダイキン工業株式会社に依頼し実施した。

実施日 平成30年8月8日(水)9時～17時  
会場 ダイキン工業株式会社 大阪研修所(堺市北区金岡町1304)  
テーマ 「空調機の基本と運転診断」  
参加者 11名(大阪府:6名、大阪市:3名、兵庫県1名、神戸私学:1名)

## (4)

### ◆産業教育に関する「講演会・シンポジウム」の開催

#### 1 研究協議(講演会)

実施日 平成30年5月17日(木)  
会場 東洋紡株式会社 本社ビル 会議室(12階)(大阪市北区堂島浜2丁目2番8号)  
演題 『近大水研における養殖研究と養殖産業の将来』  
講師 近畿大学 水産研究所 教授・所長 升間主計氏  
参加者 65名

#### 2 講演会

主催 本協会、大阪産業教育協議会  
期日 平成30年11月30日(金)  
会場 大阪府教育センター  
演題 「危機管理とリーダーシップ ～ソーシャル・リスクマネジメントの展開～」  
講師 関西大学 社会安全学部 教授 亀井克之氏  
参加者 41名

## (5)

### ◆専門高校生徒の研究活動奨励に関する事業(平成30年9月～12月)

専門高等学校生徒の研究文・作文の募集・表彰

我が国が発展し活力ある社会を築いて行く上で、「しごと」に直結する知識や技術を学ぶ専門高校には、大きな期待と役割が求められている。このため、専門教育に対する社会からの関心を高め、専門高校の活性化を図るため、専門高校の生徒を対象に、(公財)産業教育振興中央会及び(公社)経済同友会の共催による「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」が実施されている。

本協会においても大阪産業教育振興協議会と共催で審査・表彰をしました。本年度は研究文3編と作文11編の応募がありました。

#### 1 優秀賞

・研究文 (農業分野)

大阪府立園芸高等学校

「菊の新たな栽培方法とその利用」 ～挿し芽の新技术から海外輸出まで～

フラワーファクトリ科 2年 藤井 美帆・岸根 遼子

2年 大石 竜史・須崎 伸

・作文 (農業分野)

大阪府立園芸高等学校

「輸入に頼るな！新たな植物の繁殖」

フラワーファクトリ科 3年 山田 菜月

## 2 優良賞

・研究文 (農業分野)

大阪府立園芸高等学校

「コショウラン根端からの培養」～PLB増殖から個体再生、開花まで～

フラワーファクトリ科 3年 宇野 昂・山田 菜月・西尾 桜葵

2年 藤井 美帆・宮田 真

1年 栗栖菜々花・藤川 魁人

大阪府立園芸高等学校

「カシノナガキクイムシのトラップ防除」

環境緑化科 3年 村上 悦崇・町 朋佳

2年 林 朋輝

・作文 (農業分野)

大阪府立園芸高等学校

「安心・安全な農産物の販売を求めて」

フラワーファクトリ科 1年 倉田 楓花

(家庭分野)

向陽台高等学校

「将来への第1歩」を踏み出して」

調理科 1年 吉田 昂太

(工業分野)

大阪市立都島工業高等学校

「新しい発見」

建築科 3年 青木 俊太

大阪市立都島工業高等学校

「二つの国家資格」

都市工学科 3年 山里 輝

## 3 佳作

・作文 (商業分野)

向陽台高等学校

「商業への道」

商業実務高等課程 2年 中坂 未来

(工業分野)

大阪市立都島工業高等学校

「夢と希望」

理数工学科 2年 李 東建

作品の審査に、元大阪府立園芸高等学校 校長 秋澤 亮一 先生及び元大阪府立西野田工科高等学校 校長 福岡 優 先生には、多大なご協力をいただきました。

なお、本年度は全国審査で大阪府からは、研究文(農業分野)大阪府立園芸高等学校 「菊の新たな栽培方法とその利用」～挿し芽の新技术から海外輸出まで～ フラワーファクトリ科 2年 藤井 美帆、岸根 遼子、大石 竜史、須崎 伸 が入選作品として選ばれ「最優秀賞」に輝きました。

審査結果については、産業教育振興中央会より、月刊誌「産業と教育」の誌上で発表され、併せて、経済同友会HP「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」サイトに掲載されています。なお、入選作品(最優秀賞、優秀賞等)については、本会の文集「『翔』」第28集(平成30年度版)として刊行されています



## (6)

### ◆要 望 書

産業教育予算確保等産業教育振興に関し、各教育委員会及び大阪府に、次のとおり陳情した。

平成 30 年 月 日

教育委員会

教育長

様

大阪実業教育協会

会 長 坂 元 龍 三

(東洋紡株式会社 代表取締役会長)

大阪産業教育振興協議会

会 長 草 島 葉 子

(興國高等学校 理事長・校長)

### 2019 年度 産業教育振興に関する陳情書

大阪府教育庁におかれましては、日頃から産業教育の振興に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

府内における専門学科・総合学科高等学校では、将来のスペシャリストとして身につけるべき専門領域の基礎・基本の定着を図るとともに、生徒一人ひとりの個性を生かす教育を展開しておられます。さらに、地域、産業界、大学や教育機関等との適切な連携などにより、「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業や産業教育・設備の整備、工科高等学校を更に特色化するため、平成 26 年度から高大連携重点校、実践的技能要請重点校、地域産業連携重点校の設置を、また、平成 27 年度から産業創造系の新規名称で募集されるなど、学校毎に特色ある教育の推進に努めておられます。

しかしながら一方では、専門高校の統廃合や縮減と同時に、専門高校での教育活動を支える人的、物的な教育環境にも厳しいものが窺えます。

近年、団塊世代の退職や各地域の産業従事者の高齢化に伴い、技術・技能の後継者や高齢化社会を支える医療・福祉を担う人材の育成が強く求められております。

このように、専門的な知識、技術・技能を身に付けた職業人を必要とする社会全体からの要請に応える上からも極めて憂慮すべき状況にあると言えます。

今後、わが国の産業経済の発展、地域産業を支える優秀な人材育成には、専門学科・総合学科高等学校の充実維持は必要不可欠と考えます。大阪府におかれましても重要な責務として、産業教育振興法の趣旨に則り、産業界の中核となる人材育成を目的とする産業教育振興についてご理解・ご支援をいただきますとともに、新年度予算編成にあたり、下記の事項に関して、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1 産業教育担当教職員の資質の向上と人材確保について

日進月歩の科学・技術の進展に適切に対応した教育ができるよう、産業教育担当教員の専門性の深化を図るなど、資質を高めることが不可欠であり、特に次の項目についてご配慮をお願いします。

- (1) 専門教育担当教員の企業、大学、試験研究機関等での長期研修制度を更に拡充
- (2) 各高校の活性化および特色化が円滑に推進できるよう、教職員の人事配置について社会人講師



任用の促進や、意欲ある若手教員を採用できるよう定数の改善

(3) 技術・技能の高度化などに伴う技術教育の充実、技能伝承に関する現職教育の充実

## 2 産業教育施設・設備の整備促進について

近年の産業界の画期的な技術革新、高度情報通信化等の推進に対応するため、設備の更新をしていただいているところですが、特に次の項目についてご配慮をお願いします。

(1) 専門学科・総合学科高校に先端技術対応施設・設備の整備充実

(2) 従来的一般設備費に関する予算の増額

(3) 耐用年数を超過して老朽化した施設・設備の計画的な改善整備

(4) デジタル化など情報教育に関連する機器の適切な整備

## 3 教育制度の革新について

今後の社会の変化に対応できるよう、次の項目について実現をお願いします。

(1) 将来を展望した特色ある系・学科の新設・改編を引き続き促進充実

(2) 個性重視への配慮として、多様なコース制や課題研究など選択幅の拡大による弾力的なクラス編成、並びに特色ある学校・系・学科づくりが円滑に推進できるよう、人的・物的条件の整備

## 4 私学産業教育の振興について

産業教育振興法に基づく産業教育設備事業計画についての大阪府補助金（国庫補助金と同額）の交付が昭和 51 年度より停止されています。府内における私立産業教育関係高校の教育振興を図るためにも、大阪府私立高校等教育振興補助金の拡充等について、なお一層のご配慮をお願いします。

## 5 進路指導等の改善充実について

進路指導の改善充実を促進するため、次の項目について実現をお願いします。

(1) 専門学科・総合学科卒業生に対する雇用機会の一層の拡充確保

(2) 就業体験・社会奉仕・自然体験等の体験活動の普及促進と受入れ企業・団体等に対する支援

(3) 産業教育活性化とその啓発に大きな成果を上げている「大阪府産業教育フェア」に要する補助金の増額

(4) 各種職業資格・検定等の拡充と取得対策の推進

(5) 大学、地域社会及び産業界等との連携や協力関係の強化

## 6 大学入学者選抜方法の改善について

大学、短大における入学者選抜について、一層の改善が図られるようご支援をお願いします。

(1) 「専門高校・総合学科卒業生選抜」制度導入の拡大

(2) 専門学科・総合学科卒業生のための「推薦入学」制度の拡大

(3) 調査書における専門科目の学習成果、特技及び取得した職業資格等の重視、インターンシップ活動等への配慮

(4) 学力検査への専門科目の導入と拡大

(5) 専門高校卒業生への補習授業や特別カリキュラムの実施の拡大

## 7 専門高校の理解・啓発について

専門高校は、わが国の産業経済、科学技術の発展のためのスペシャリスト育成への重要な役割を果たしています。専門高校について、小・中学校をはじめとする社会一般への理解、認識を深める

などの啓発、さらには、専門学科等で知識・技術を修得した者が、重要視される社会的な風潮を醸成するための啓発を一層図られるようお願いいたします。

- (1) 中学校の進路指導等における専門高校の教育実践についての啓発
- (2) 専門高校生徒の学習成果の発表、理解・啓発の機会となる「産業教育フェア」の充実
- (3) 専門高校の教育実践について社会一般への啓発
- (4) 専門高校生徒の長期間インターンシップの受入れ企業等への普及促進

## (7)

### ◆要 望 書

大学入学選抜における推薦入学制の採用・拡大について、両会長名をもって府内各大学に、次のとおり要望を行った。

平成 30 年 月 日

大学  
学長 様

大阪実業教育協会  
会 長 坂 元 龍 三  
(東洋紡株式会社 代表取締役会長)  
大阪産業教育振興協議会  
会 長 草 島 葉 子  
(興國高等学校 理事長・校長)

### 大学入学者選抜に関する要望

専門高等学校（以下「専門高校」）からの大学入学者選抜に関しては、公益財団法人産業教育振興中央会並びに全国産業教育振興連絡協議会において、従来から対策実行委員会を設け、関係団体等への陳情を推進して参りました。

「専門高校における教育の在り方等について」生涯学習推進の視点から、継続的に専門能力の向上を図るために、専門高校卒業生に大学などの多様な学習機会を拡大することの重要性が指摘されています。そのためには、大学入学者選抜において「専門高校・総合学科高校卒業生選抜」や「専門高校・総合学科高校卒業生推薦入学」の一層の拡大、合否判定に当たっての「職業資格重視」、学力試験での「専門教科・科目の出題」などの配慮や工夫が求められています。このことにつきましては、各専門高等学校長協会ともども全国的に強力な運動を推進しております。

つきましては、別添の要望書をご高覧賜り、何とぞ特段のご高配をいただきますようお願い申し上げます。

なお、専門高校の専門教員の確保につきまして、貴大学におかれては、産業教育の重要性に鑑み、教員養成に一層のお力添えをお願いいたします。

特に、専門高校出身の専門科目担当教員は、専門技術に卓越し、実践力に富み、実験・実習の指導に優れた成果を収めていることから、全国の専門高校では、このような優れた指導力のある教員の採用・確保が強く要請されておりますことを申し添えます。

## (8)

### ◆要 望 書

専門高校卒業生の採用について、産振中央会とともに大阪実業教育協会と大阪産業教育振興協議会の両会長等をもって、在阪経済三団体に次の通り陳情を行った。

平成 30 年 月 日

様

大阪実業教育協会

会 長 坂 元 龍 三

(東洋紡株式会社 代表取締役会長)

大阪産業教育振興協議会

会 長 草 島 葉 子

(興國高等学校 理事長・校長)

### 専門高校卒業生の採用に関する陳情

( 農業・工業・商業・家庭・看護・情  
報・福祉等の専門学科及び総合学科 )

平素から産業教育の振興発展のために、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、高等学校新規卒業者の就職状況については、経済不況回復の兆しが見える中で、平成 30 年 3 月末の文部科学省調査によれば、全国平均が 98.1% で、前年同期の 98.0% から、0.1 ポイント上昇の結果となりました。大阪府は全国平均よりも 3.2 ポイント下回る結果となっており、厳しい状況です。

この大阪府の状況を男女別にみると、男子 96.4% (昨年同期比 0.3 ポイント減)、女子 92.6% (昨年同期比 0.1 ポイント減) となっており、全国平均よりも、男子 2.1 ポイント、女子 0.8 ポイント下回っております。

さらに、就職率を都道府県別に見ると、就職率が高い県は、富山県 (99.9%)、福井県 (99.8%)、石川県 (99.7%)、鳥取県 (99.6%)、大分県 (99.6%) の順となっています。

また、就職率が低い県は、沖縄県 (93.7%)、大阪府 (94.9%)、神奈川県 (95.5%)、東京都 (95.9%)、千葉県 (96.2%) の順となっており、大阪府は 3 年間のワースト 2 となっております。

また、全国の就職率を学科別に見ると、「工業」(99.5%)、「商業」(99.2%)、「福祉」(99.1%)、「農業」(99.0%)、「水産」(98.8%)、「家庭」(98.4%)、「情報」(97.7%)、「総合学科」(97.6%)、「普通」(96.3%)、「看護」は看護師 5 年一貫課程が主になるため列記していません。(ご参考までに、5 年課程 5 年次の就職率は、98.4% です。)

大阪府における専門高校卒業予定者の就職希望者は、他府県に比しても多い状況にあり、就職を希望しながらも卒業までに就職に至らなかった卒業生も出ております。

これらの専門高校の生徒は、それぞれの専門の基礎・基本を学び、実験・実習を通して実践的な知識・技術を身に付け、また、各種の職業資格を取得するなど、職業人、社会人として必要な能力の向上に努め、卒業後は、各(業)界において活躍することを強く希望しています。

つきましては、今後とも、専門高校の教育になお一層のご理解を賜り、前途有為な卒業生の採用について、特段のご高配をくださいますようお願いいたします。

## (9)

### ◆御下賜金記念産業教育功労者の表彰（産振中央会 浦野光人）

冊子「産業と教育」平成30年11月号 No.781 参照

11月6（火）当協会の坂元会長から、表彰状を伝達した。（23名の先生方）

産業教育に関する学校に在籍し、勤続30年以上にわたり産業教育に特に功労がある者

大阪府立	今宮工科高等学校	教諭	中原秀夫
〃	今宮工科高等学校	教諭	大西孝治
〃	西野田工科高等学校	教諭	藤川高志
〃	西野田工科高等学校	教諭	濱田俊治
〃	西野田工科高等学校	教諭	佐藤芳宏
〃	淀川工科高等学校	教諭	大村祐之
〃	枚岡樟風高等学校	教頭	橋本英昭
〃	堺工科高等学校	教頭	戸谷裕明
〃	堺工科高等学校	教諭	川寄博志
〃	城東工科高等学校	教諭	木下譲二
〃	城東工科高等学校	教諭	山本正広
大阪市立	淀商業高等学校	教諭	山本郁夫
〃	淀商業高等学校	教諭	西本正志
〃	住吉商業高等学校	教諭	赤松隆男
〃	住吉商業高等学校	教諭	岩崎 彰
〃	泉尾工業高等学校	教諭	稲田昌美
〃	東淀工業高等学校	教諭	前野見依子
〃	東淀工業高等学校	教諭	長田孝嗣
〃	生野工業高等学校	教諭	藤本純一
〃	中央高等学校	教諭	福井孝雄
〃	中央高等学校	養護教諭	細尾由香利
〃	工芸高等学校	教頭	徳重 悟
〃	工芸高等学校	教諭	上垣内賢司

## (10)

## ◆優良卒業生の選奨

例年の通り 専門高等学校の優良卒業生 1校 2名に対し、本協会並びに大阪産業教育振興協議会会長名で表彰。

なお、産業教育振興中央会の表彰状も 当協会より伝達した。

学 校 名 ( 高 等 学 校 )	大阪実教・大阪産振協 会長賞		産振中央会
	氏 名	氏 名	氏 名
園 芸	石 原 綾 香	田井中 隆 雅	林 知 輝
農 芸	宮 寄 遥 生	井 口 り ん	奥 田 こころ
能 勢	千 葉 優 子	平 林 和 真	原 泰 世
枚 岡 樟 風	北 野 大 地	井 手 美 雨	村 上 颯 太
西 野 田 工 科	前 島 朱 里	中 村 太 陽	北 村 威 留
〃 (定時制)	國 重 二 千 翔	藤 川 竜 弥	桶 田 真 紀
淀 川 工 科	谷 川 順 勇	藤 澤 尚 季	後 藤 星 南
今 宮 工 科	中 寄 真 志	日 野 倫 克	飯 村 祥 也
〃 (定時制)	中 山 咲 稀	橋 本 幸 美	箕 山 達 也
茨 木 工 科	西 村 匡 貴	沖 田 優 也	藤 野 陽
城 東 工 科	寺 蘭 龍	小 西 陸 斗	飛 田 勇 斗
布 施 工 科	向 井 壺 成	佐 藤 奎 伸	石 崎 仁
藤 井 寺 工 科	朝 倉 碧 矢	福 森 章 平	岡 田 侑
〃 (定時制)	川 原 永 輝	笹 野 寛 夢	鳥 原 悠 太
堺 工 科	山 際 博 之	高 橋 拓 也	凧 耕 介
〃 (定時制)	福 田 玲 憂	立 唐 成 海	谷 口 龍 之 介
和 泉 総 合	木 戸 来 樹	梶 村 斗 資 樹	在 木 トモミ
佐 野 工 科	八 藤 楓	岩 崎 友 哉	荒 木 亮
〃 (定時制)	高 橋 喜 代	三 宅 千 夏	松 下 龍 也
成 城	海 田 連 也	糸 林 恵 人	岡 野 朱 理
東 住 吉 総 合	高 松 航 大	小 倉 稜 希	清 水 大 澄
港 南 造 形	田 口 祥 太 郎	田 口 春 花	朝 倉 小 雪
西	濟 木 啓 雅	大 柄 和 樹	高 木 蓮
〃	垣 本 有 咲	杉 野 遥 奈	香 河 瑠 奈
扇 町 総 合	山 根 由 華 璃	細 見 圭 澄	香 川 み の り
大阪ビジネスフロンティア	上 田 靖 丘	橋 本 美 沙 紀	藤 田 野 乃 花
淀 商 業	吉 武 愛	藤 中 麻 由	中 本 真 菜 美
〃	溝 口 美 咲	寺 田 雅	伊 藤 優 花
鶴 見 商 業	原 田 紋 奈	土 山 唯	上 岡 あ い
住 吉 商 業	竹 下 乃 々 花	仲 田 征 起	矢 野 美 紀

都 島 工 業	重 田 碧 音	上 村 丈 夫	山 下 雄 也
東 淀 工 業	内 布 康 太	石 川 玲 斗	三 島 桜 弥
生 野 工 業	小井谷 弘 樹	山 形 仁	桑 原 望
泉 尾 工 業	鳴 川 亜 子	徳 勇 樹	門 脇 竜 紀
工 芸	赤 松 美 憂	酒 井 美 鈴	青 木 舞 美 香
咲 く や こ の 花	澤 山 圭 佑	藤 原 飛 香 璃	山 中 匠
中 央	花 井 寿	宮 尾 樹 里	高 橋 勇 裕
都 島 第 二 工 業	松 元 大 地	三 好 毅 昌	大 島 未 来
第 二 工 芸	滝 亜 紗 花		本 宮 美 紀
堺 市 立 堺 (全 日 制)	宮 崎 雅 也	溝 口 隣	太 田 愛 香
” (定 時 制)	水 野 広 満	吉 村 悠	中 嶋 直 洋
東 大 阪 市 立 日 新	飛 弾 雄 登	内 野 恵	水 谷 慎 太 郎
岸 和 田 市 立 産 業 (全 日 制)	泉 本 祐 以 子	今 川 汐 梨	山 本 美 波
” (定 時 制)	川 邊 涼 音		小 笠 原 未 来
昇 陽	焼 野 菜 歩	福 原 加 奈 子	大 和 咲 良
興 國	泉 尾 龍 晟	森 本 涼 太	川 崎 聖 祈
大 商 学 園	藤 瀬 虹 歩	岡 田 杏 梨	前 川 望 愛
星 翔	辻 清 鷹	園 田 啓 太	小 野 木 真 晴
向 陽 台 (通 信 制)	民 谷 争 希	伊 藤 秀 吾	吉 川 英 菜
” (通 信 制)	西 村 さ くら	平 谷 美 優	鈴 木 ひ かる
” (通 信 制)	藤 岡 幸	水 谷 英	吉 田 有 真
” (通 信 制)	高 橋 和 暉	内 堀 蓮 太	鈴 木 淳
長 尾 谷 (通 信 制)	中 村 侑 加	駒 井 颯 人	上 野 舞
科 学 技 術 学 園 (通 信 制)	立 川 桃 花		
太 成 学 院	山 本 聖 也	馬 場 征	

## (11)

### ◆部会長の委嘱

次の方々に各部会長を委嘱し、今後の部会活動の発展を期することとした。

農業教育部会長	大 阪 府 立 園 芸 高 等 学 校 校 長	真 鍋 政 明 様
工業教育部会長	大 阪 府 立 茨 木 工 科 高 等 学 校 校 長	渡 邊 幸 彦 様
商業教育部会長	大 阪 市 立 大 阪 ビ ジ ネ ス フ ロ ン テ ィ ア 高 等 学 校 校 長	川 口 伊 佐 夫 様



## (12)

### ◆総 会

- |        |  |
|--------|--|
| 1 日 時  | 平成 30 年 5 月 17 日 (木) 9:00 ~ 11:30  |
| 2 会 場  | 東洋紡株式会社 本社 会議室   |
| 3 議 事  | (1) 平成 29 年度事業報告並びに決算報告 (案) の件……………承認<br>(2) 役員改選の件 ……………承認<br>(3) 平成 30 年度事業計画並びに予算 (案) の件……………承認 |
| 4 研究協議 | 講演会<br>演 題 「近大水研における養殖研究と養殖産業の将来」<br>講 師 近畿大学水産研究所 所長<br>升 間 主 計 氏                                 |

## (13)

### ◆第 1 回 合同役員会 (部会長・幹事長会)

平成 30 年 5 月 9 日 (水) 15:30 ~ 於：淀川工科高等学校記念会館 出席者：23 名

#### 協 議 事 項

- (1) 総会審議事項について
  - ・平成 29 年度決算の報告および 30 年度予算の編成
  - ・人事異動、役員名簿の確認 (会長・理事長の改選について)
- (2) 教員研修に関する件 (産業見学研修、講演会、研修等)
- (3) 産業教育振興に関する予算の拡充 (要望書) について
- (4) 大学推薦入学陳情に関する件 (大学会員依頼を兼ねて)
- (5) 会員大学への見学会について (7 月 ~ 8 月)
- (6) 後援並びに助成事業について
- (7) 「全国産業教育フェア (大阪大会)」預かり金について
- (8) 本協会の基盤強化に関する件

#### 報 告 事 項

- ・各種要望書は例年通り関係機関・団体等へ陳情
- ・産業教育振興中央会関係 (産振中央会)
  - ① 春季全国産業教育振興連絡会議 (東京) (平成 30 年 5 月 24 日 (木))
  - ② 第 28 回全国産業教育フェア・第 60 回全国産業教育振興大会 (山口大会)
  - ③ 平成 30 年 10 月 20 日 ~ 21 日
- ・産業教育振興中央会の事業
  - (1) 「平成 30 年度海外産業教育事情視察派遣候補者」の推薦について
  - (2) 「平成 30 年度御下賜金記念産業教育功労者表彰候補者」の推薦について
  - (3) 「平成 30 年度産業教育改善に関する特別研究」助成について
  - (4) 「平成 30 年度産業実地研修事業の実施」について
  - (5) 「平成 30 年度専門高等学校生徒の研究文・作文コンクール参加作品」募集について
- ・平成 30 年度大阪産業教育振興協議会総会 (案)

## ◆第2回 合同役員会（部長会・幹事校長会）

平成30年9月7日（金）15：30～ 於：淀川工科高等学校記念会館 出席者：15名

### 協議事項

・預かり金「全国産業教育フェア大阪大会」の用途について

①「府産業教育フェア」補助額の決定

②「第60回全国産業教育振興大会・第28回全国産業教育フェア」（山口大会）の派遣について

### 報告事項

・本協会並びに産業教育振興中央会の事業等について

(1) 研修関係事業について

イ 高等学校産業教育見学研修： 教頭研修 3名（平成30年12月25日（火）～27日（木）の予定）

ロ 第2回講演会の開催について 12月実施予定

ハ 大学見学会について

会員大学の9大学へ見学会 （延べ参加者：38名）

期間：平成30年7月24日（木）～8月28日（火）の期間で実施

ニ 見学研修について

平成30年10月17日（火）14：00～実施 （参加者：22名）

株式会社エクセデイ（寝屋川市木田元宮1-1-1）の見学

(2) 教育委員会へ産業教育振興に関する予算の拡充（要望書）の件

(3) 大学推薦入学陳情に関する件

(4) 専門高校優良卒業生の選奨（本実業教育協会・大阪産業教育振興協議会と共催）の件

(5) 本協会の基盤強化について

## (14)

### ◆研究団体への助成

(1) 第26回大阪府産業教育フェア（平成30年7月29日）

後援名義、補助金

(2) 平成30年度 第66回全国商業教育研究大会（平成30年8月1日～3日）

後援名義、補助金

(3) 第66回近畿学校農業クラブ連盟大会（平成30年8月22日～23日）

後援名義、補助金

## (15)

### ◆産業教育に関する公私の諮問等への意見具申などの協力

・大阪府産業教育フェア実行委員会委員

# 令和元年度 事業計画 (案)

- 1 国内産業教育研修員の派遣
- 2 産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業  
(シンポジウム・講演会・座談会・研修会・見学研究会(企業、大学)等)
- 3 専門高校生徒の研究活動奨励に関する事業  
(研究文・作文・体験発表等と表彰)
- 4 産業教育功労者の表彰及び専門高等学校優良卒業生の選奨
- 5 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業  
(企業、大学と学校との情報交換等)
- 6 産業教育に関し、公私の諮問に応え、または意見を開申する
- 7 協会基礎強化の取組み
- 8 その他必要と認める事業

# 関連事業・行事

## 大学入学者選抜に関する要望

文部科学省・大学関係団体 様  
大阪近郊 国・公・私立大学学長 様

平成 30 年 7 月 20 日

## 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書

(農業・工業・商業・水産・家庭・看護)  
情報・福祉の専門学科及び総合学科)

公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会  
全国農業高等学校長協会  
公益社団法人全国工業高等学校長協会  
全国商業高等学校長協会  
全国水産高等学校長協会  
全国高等学校長協会家庭部会  
全国看護高等学校長協会  
全国専門学科「情報科」高等学校長会  
全国福祉高等学校長会  
全国総合学科高等学校長協会

## 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）では、職業に関する教育を行うことにより、我が国の地域や産業を担う職業人を育てるという重要な役割を持っています。

専門高校の生徒は、専門高校で身に付けた専門的な知識、技術・技能を更に高め、かつ、より高度な資格取得を目指すため、大学、短期大学等の高等教育機関への進学を目指す者が多くなっています。しかしながら、専門高校はその目的から、普通科の高校とは教育課程も大きく異なるなど、普通科の生徒を念頭に置いた入学者選抜試験においては、極めて不利な状況にあります。

このため、高等教育機関へ進学する専門高校の生徒の進学機会の拡大等に係る次の事項について、特段のご理解とご高配をお願いいたします。

### 1 専門高校卒業生を対象とした入学者選抜方法等の実施

- (1) 専門高校生徒の専門分野関連の学部、学科においては、専門高校卒業生を対象とした「入学者選抜枠」の拡充、及び「AO入試」・「推薦入試」など、多様な入学者選抜方法の実施・拡充

- (2) 各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定及び認定制度、農業クラブや家庭クラブ、生徒商業研究発表大会をはじめとする生徒の各種発表会やコンクール等の実績、インターンシップ等の体験活動を重視した入学者選抜方法の実施
  
- 2 専門高校の特性を踏まえた「高校生のための学びの基礎診断」及び「大学入学共通テスト」の実施
  
- 3 各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定等で取得した資格を大学等における単位として認定する制度の拡充
  
- 4 「専門職大学・専門職短期大学」の充実
  - (1) 専門高校の特性を踏まえた活動等を重視した入学者選抜の実施
  - (2) 専門高校での教育を踏まえた連携・継続した「カリキュラム」の編成等（普通科からの入学者との相違を踏まえた「カリキュラム」の設定等）
  - (3) 専門高校での専門教育を踏まえた専門職大学・専門職短期大学の設置促進
  
- 5 高等学校専攻科からの大学編入学の積極的な受入
  
- 6 給付型奨学金の拡充

## 専門高校生徒の就職に関する要望書

文部科学省・厚生労働省・産業経済団体 様  
〔(公社) 関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会〕 様

平成 30 年 7 月 20 日

### 専門高校生徒の就職に関する要望書 ( 農業・工業・商業・水産・家庭・看護 情報・福祉の専門学科及び総合学科 )

公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会  
全国農業高等学校長協会  
公益社団法人全国工業高等学校長協会  
全国商業高等学校長協会  
全国水産高等学校長協会  
全国高等学校長協会家庭部会  
全国看護高等学校長協会  
全国専門学科「情報科」高等学校長会  
全国福祉高等学校長会  
全国総合学科高等学校長協会

### 専門高校生徒の就職に関する要望

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）の生徒は、実験・実習を多く取り入れた実践的・体験的な学習活動により、社会人・職業人としての勤労観・職業観を身に付けるとともに、各種国家資格、検定等の取得に努めるなど、専門的な知識、技術・技能を修得し、我が国の地域や産業を担う職業人となることを目指しています。

今日、産業界では、グローバル化、産業の高度化の進展などにより国際競争が激しくなっています。また、科学技術の急速な進歩は、これまで人が担っていた仕事の領域を大きく変え、かつ職業人として求められる知識、技術・技能も高度化しています。さらには、我が国社会においては、急速な少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少、地方では若年世代の大都市圏への流出による地方経済の縮小や深刻な人手不足となるなど、我が国の将来にとって危惧すべき課題が山積しています。

近年、高等学校卒業者の就職状況は売り手市場を呈し、企業においては深刻な人手不足になっている中、実際に専門高校卒業者を採用された企業での評価には高いものがあります。しかしながら、上述の我が国の産業や社会を取り巻く状況等から、今後の専門高校生徒の就職に与える影響も懸念されるところです。

各経済団体、各企業、文部科学省、厚生労働省、経済産業省におかれましては、専門高校卒業生の就職を巡る次の事項について、引き続き特段のご理解とご高配をお願いいたします。



1 専門高校卒業生の採用枠の拡大等

専門高校の卒業生が将来に不安を持つことなく希望を持って社会に踏み出せるよう、企業等における専門高校卒業生の採用枠の拡大及び各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定及び認定制度、農業クラブや家庭クラブ、生徒商業研究発表大会をはじめとする生徒の各種発表会やコンクール等の実績、インターンシップ等の体験活動を評価した採用

2 地元企業等への雇用機会の拡大

地方創生の実現において、地元志向の高い専門高校卒業生の果たす役割は重要であることから、地元における雇用創出について特段の取組

3 女子の採用促進

男女共同参画社会の実現の上からも、女子採用の促進と採用後の就労等について特段の取組

4 就職選考開始期日の遵守

「職業安定法」の趣旨・目的を踏まえた選考開始期日（9月16日）の遵守

5 未就職卒業生への支援

採用内定取消の解消、及び就職に至らなかった者への支援

◇平成 30 年度 公益財団法人産業教育振興中央会理事会・評議員会

日 時 平成 30 年 5 月 24 日 (木) 12 時 45 分～ 12 時 30 分  
会 場 工業教育会館 5 階会議室  
議 案

- 1 平成 29 年度事業の概要
- 2 平成 29 年度事業の実施状況
- 3 役員会等の開催状況
- 4 会員の状況 ①産業経済界・各団体 54 団体  
②学校会員 1,728 校 個人会員 225 名  
③賛助会員 1 団体
- 5 許認可に関する事項
- 6 役員会の開催状況
- 7 平成 29 年度収支決算報告
- 8 平成 30 年度事業計画
- 9 平成 30 年度収支予算案

上述の議案について審議が行われ異議なく可決・承認された。

なお、平成 30 年度役員総会の詳細な内容については、冊子「産業と教育」平成 30 年 6 月号 788 号「本会の関係行事」を参照してください。

◇平成 30 年度全国産業教育振興会連絡協議会総会  
及び公益財団法人産業教育振興中央会参与・学校代表委員会議

日 時 平成 30 年 5 月 24 日 (木) 13 時 30 分～ 15 時 30 分  
場 所 工業教育会館 2 階ホール  
次 第

- 1 挨拶 全国産業教育振興会連絡協議会副会長 (公益財団法人産業教育振興中央会理事長)  
杉江和男様
- 2 挨拶 文部科学省初等中等教育局 児童生徒課産業教育振興室長  
高見太也様
- 3 講演 演題「子供の幸福度世界一」オランダ式の専門教育  
講師 東京都日比谷高等学校非常勤教員 戸田勝昭様
- 4 平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業計画等について  
(1) 全国産業教育振興会連絡協議会関係  
(2) 公益財団法人産業教育振興中央会関係
- 5 第 28 回全国産業教育フェア (山口大会)・第 60 回全国産業教育振興大会 (山口大会) について
- 6 その他

## 第 28 回全国産業教育フェア山口大会 –さんフェアやまぐち 2018–

### 1 期 日

平成 30 年 10 月 20 日（土）・21 日（日）

### 2 会 場

山口きらら博記念公園多目的ドーム、維新百年記念公園スポーツ文化センター、  
山口県健康づくりセンター、キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター、ホテルかめ福

### 3 主 催

第 28 回全国産業教育フェア山口大会実行委員会、文部科学省、山口県、  
山口県教育委員会、山口市、周南市、山口市教育委員会、周南市教育委員会、  
公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、山口県産業教育振興会

### 4 後 援

総務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、  
山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、  
山口県中小企業団体中央会、山口経済同友会、全国農業協同組合連合会山口県本部  
山口県農業協同組合中央会、山口県漁業協同組合、一般社団法人山口県中小企業経営者協会、  
大学リーグやまぐち、山口県私立大学協会、一般社団法人山口県専修学校各種学校協会、  
山口県私立中学高等学校協会、山口県高等学校長協会、山口県公立高等学校 PTA 連合会、  
山口県私立中学高等学校 PTA 連合、朝日新聞社、共同通信社山口支局、時事通信社山口支局、  
中国新聞防長本社、日本経済新聞社山口支局、毎日新聞社山口支局、山口新聞社、読売新聞西部本社、  
tys テレビ山口、KRY 山口放送、NHK 山口放送局、エフエムきらら、しゅうなんFM、エフエム山口、  
岐北テレビ共同受信施設組合、K ビジョン株式会社、株式会社シティーケーブル周南、  
株式会社メディアリンク、山口ケーブルビジョン株式会社

### 5 開催内容

#### (1) 総合開会式・総合閉会式

##### ア 総合開会式

期 日：10 月 20 日（土）9：00～10：15

会 場：山口きらら博記念公園 多目的ドーム

内 容：開会式典、オープニングアトラクション

##### イ 総合閉会式

期 日：10 月 21 日（日）14：30～15：40

会 場：山口きらら博記念公園 多目的ドーム

内 容：閉会式典、メモリアルアトラクション

次期開催地の決定について

第 29 回全国産業教育フェア

新潟大会 2019 年 10 月 26 日（土）～10 月 27 日（日）新潟県

### 全国産業教育フェア開催都道府県

第1回 (H3)	千葉県 (千葉市)	第16回 (H18)	埼玉県 (埼玉市他)
第2回 (H4)	静岡県 (静岡市)	第17回 (H19)	沖縄県 (宜野湾市他)
第3回 (H5)	富山県 (富山市)	第18回 (H20)	大阪府 (大阪市他)
第4回 (H6)	京都府 (京都市)	第19回 (H21)	神奈川県 (横浜市他)
第5回 (H7)	和歌山県 (和歌山市)	第20回 (H22)	茨木県 (つくば市他)
第6回 (H8)	山形県 (山形市他)	第21回 (H23)	鹿児島県 (鹿児島市他)
第7回 (H9)	群馬県 (前橋市)	第22回 (H24)	岡山県 (岡山市)
第8回 (H10)	福岡県 (福岡市)	第23回 (H25)	愛知県 (名古屋市他)
第9回 (H11)	島根県 (松江市他)	第24回 (H26)	宮城県 (名取市他)
第10回 (H12)	徳島県 (徳島市他)	第25回 (H27)	三重県 (伊勢市他)
第11回 (H13)	岐阜県 (岐阜市)	第26回 (H28)	石川県 (金沢市他)
第12回 (H14)	岩手県 (盛岡市他)	第27回 (H29)	秋田県 (秋田市)
第13回 (H15)	北海道 (札幌市)	第28回 (H30)	山口県 (山口市他)
第14回 (H16)	広島県 (広島市他)	第29回 (R元)	新潟県 (新潟市他)
第15回 (H17)	東京都 (東京都)		



第29回全国産業教育フェア新潟大会

# さんフェア新潟2019

2019年  
10/26<sup>土</sup>27<sup>日</sup>

とき  
会場:朱鷺メッセ 他

繋ごう！伝統のバトン  
朱鷺翔る新潟から

キャッチコピー:草分虹香(県立新潟商業高等学校)  
ポスター:高野優香子(県立三条商業高等学校)

主催:第29回全国産業教育フェア新潟大会実行委員会、文部科学省、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、新潟県産業教育振興会  
お問合せ:第29回全国産業教育フェア新潟大会実行委員会事務局本部(新潟県教育庁高等学校教育課) TEL:025-280-5612 FAX:025-285-7998



# 第29回 全国産業教育フェア新潟大会

開催日程

日程 会場	10月26日(土)										10月27日(日)																
	30	10時	30	11時	30	12時	30	13時	30	14時	30	15時	30	16時	9時	30	10時	30	11時	30	12時	30	13時	30	14時	30	15時
朱鷺メッセ	メインホール(スノーホール)		総合開会式			スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業発表会(発表)												総合開会式									
	2階ホワイエ		スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業発表会(展示)										スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業発表会(展示)														
	中会議室201							意見・体験発表										作品・研究発表									
	展示ホール(ウェブマーケット)		作品展示										作品展示														
			参加交流イベント										参加交流イベント														
			体験・実演コーナー										体験・実演コーナー														
			企業・大学・専門学校等の展示										企業・大学・専門学校等の展示														
			高校生カフェ(特別支援学校喫茶コーナー)										高校生カフェ(特別支援学校喫茶コーナー)														
			全国高校生デパート/新商Collab										全国高校生デパート/新商Collab														
			キッズビジネスタウン										キッズビジネスタウン														
			第18回フラワーアレンジメントコンテスト										第18回フラワーアレンジメントコンテスト作品展示														
	エスプラナード		全国高校生デパート										全国高校生デパート														
	サービスヤード(屋根付き駐車場)		飲食提供エリア/新商Collab										飲食提供エリア/新商Collab														
	国際会議場(マリンホール)		クロスフェス新潟(ファッションショー)																								
中会議室302							事前説明会					第8回全国高校生 介護技術コンテスト															
ウォーターシャトル乗り場付近		新造船「海洋丸」船内見学										新造船「海洋丸」船内見学															
アオーレ長岡		第27回全国高等学校ロボット競技大会(公式練習・開会式・競技者会議)										第27回全国高等学校ロボット競技大会(競技・閉会式)															
食育・花育センター(いくとびあ)							全国高校生クッキングコンテスト(リハーサル)					全国高校生クッキングコンテスト															
ホテル日航新潟		第61回全国産業教育振興大会																									

※スケジュール等に変更になる場合があります。



- 1** バス タクシー 徒歩
  - 新潟駅万代口バスターミナル3番線 佐渡汽船H線(佐渡汽船行)「朱鷺メッセ」下車 徒歩2分
  - 新潟駅万代口より約5分
  - 新潟駅万代口より約20分
- 2** 電車 徒歩
  - 上越新幹線・信越本線「長岡駅」下車 徒歩3分
  - 関越自動車道 長岡インターチェンジから約20分
  - 長岡駅の改札口からアオーレ長岡3階の市民交流ホールやアリーナへ、雨や雪に濡れずに直接アクセスできます。
- 3** バス 車
  - 新潟駅南口バス乗り場1番からS7スポーツ公園線「市民病院方面行」→「いくとびあ食花前」下車すぐ
  - 新潟駅万代口バス乗り場0・1番線からB1万代橋ライン(BRT)「青山方面行」→市役所前にて S1市民病院線乗換 →鳥屋野湯公園前または東京学館下車 徒歩約15分
  - 高速道路[日本海東北自動車道]……「新潟亀田IC」より約7分、「新潟中央IC」より約5分
  - 新潟バイパス(国道8号)……「女池IC」より約10分
  - 亀田バイパス(国道49号)……「姥ヶ山IC」より約5分

※最新の情報は、大会ホームページ(<http://www.sanfair2019.nein.ed.jp/>)をご覧ください。

